

11月の園だより

令和6年11月1日
目黒区立菅刈保育園長

4, 5歳児クラスで芋掘り遠足に行ってきました。芋が掘り終わり4歳児クラスの子が「見て」と大きな幼虫を見せてくれました。「これはくわがたの幼虫だよ」「なんでわかるの」「だって〇〇君が言ってた」「どうする。持って帰る」と聞くと「持って帰らないよ。だって持って帰ったら死んじゃうよ。ここで大きくなるんだよ」と言っています。自分の浅はかな発想が恥ずかしくなり「そうだね。返してあげようね」と言うと満面の笑みを浮かべていました。他にも様々な虫を見つけました。その度に「これは、触ったらダメだよ」「初めて見るね」と友達同士で話し合い、一人一人が感覚を研ぎ澄まして輝く瞳が素敵でした。

帰ってきてから、職員と虫を置いてきた話をすると「昨年までは、園庭でも捕まえるだけ捕まえて死んでしまったのを経験してきた」「死んでしまって悲しい思いを沢山してきた」等、子どもたちが夢中になって遊んでいる姿と重なる部分が発見できました。芋掘り遠足が特別な行事ではなく、日頃の保育の延長線上に子どもたちの姿があること、園として大切にしてきたことを実感しました。次の日の連絡帳には保護者の方から「『僕はお芋掘りのプロになったんだよ、掘る時は言ってね』と言ってくれました。」「夜、簡単に蒸したお芋を用意しました。下の子がパクパク食べるので『僕が取ってきたんだよ』と嬉しそうにしていました。体験は何にも変えがたいですね」ということが書かれていました。私たちが伝えたかったことが伝わり、嬉しく思いました。また、他の保護者の方からは“お芋の甘露煮”の作り方を教えていただきました。料理が苦手な私ですが「何事も体験」の心持ちで作ってみようと思います。

今月は散歩等を通じて、秋の深まりを子どもたちは感じていきます。感じたことを言葉にのせて共感していきたいと思います。



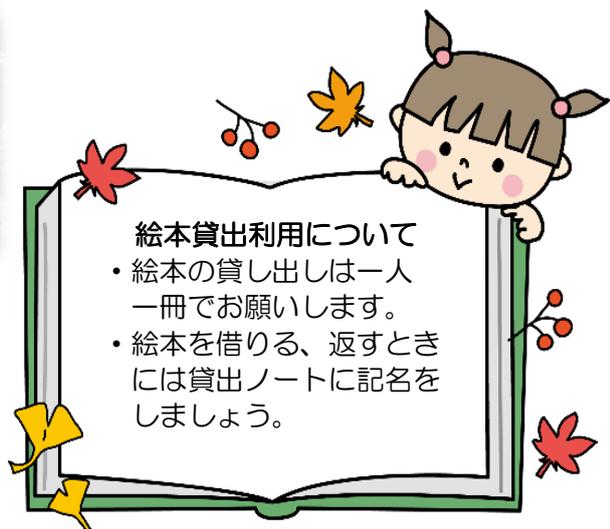
今月の予定

秋の西郷山（4, 5歳児クラス）
身体計測（幼児）
身体計測（乳児）

焼き芋会（全園児）
※雨天
冬の子ども会（乳児）
歯科検診
避難訓練



運動の秋！ 運動会ごっこ



絵本貸出利用について

- 絵本の貸し出しは一人一冊をお願いします。
- 絵本を借りる、返すときには貸出ノートに記名をしましょう。

自分のクラスだけでなく他学年のリズムや競技をみんなで楽しみました！

西郷山公園の遊びポイント紹介！！ (1, 2, 4歳児編)

ひまわり組 (2歳児クラス)

虫探しが大ブームなひまわり組の子どもたち。芝生が広がる広場だけでなく、道中のスロープにも虫たちはたくさん潜んでいます。保育士と一緒に虫探しをしているうちに、上から覗き込むだけでなく葉っぱの裏や岩場の隙間など、子どもたちもどなたとどこに虫が潜んでいるのか覚えて探し方が巧みになってきました。

友達が見つけている姿にも目が向くようになり、誰かが発見したことに気付くとみんなが集って虫の姿を一緒に観察しています。虫がちょっと怖いと感じる子も保育士や友達が触っているからこそ手が少しずつ伸びて触ってみる姿も増えてきました。

これからも子どもたちと一緒に探索をしながら発見した喜び、湧いてくる興味を大切に、自然との触れ合いを楽しんでいきます。



すみれ組 (1歳児クラス)

初めての西郷山公園。広場の芝生で追いかけてっこをしました。途中で「逃げろー」と木の陰に隠れると、走って追いかける子どもたち。別の保育士と一緒に探しに行き「いたー」と見つけて楽しそうです。そして、もう一度保育士が走って他の木に隠れました。先に探しに来た子に「しー、先生に見つっちゃう」と言う「しー」と真似をして一緒に隠れ、今度は驚かす番です。探しに来た子が近づいてきたので「ばあ」と出て行きました。保育士が「わー、びっくりした」と言う、その様子を見て満足そう。再度一緒に走って他の木に隠れに行き、楽しんでいました。

これからも、保育士と一緒にかくれんぼや追いかけてっこをしたり、秋ならではの自然の中で探索をしたりと楽しんでいきたいと思います。

うさぎ組 (4歳児クラス)

広場には蝶やトンボ、バッタ等色々な虫がいて「捕まえたー」と追いかけています。捕まえる事ができないと「そっと、近づいてみよう」とどうやったら虫が捕まえられるか子どもなりに考えて、やってみる姿があります。蝶を捕まえられると「みんなも見て」と喜びを皆に伝え「すごいね」「どうやって捕まえたの」と声を掛けられると、とても嬉しそうな表情をしています。

また、オオバコもたくさん生えており「お相撲しよう」とオオバコ相撲が始まります。茎を交差し「はっけよーい、のこった」の声に合わせて引っ張り合います。「やったー。このオオバコ強すぎ」「切れちゃった。もっと強いどれかな」と繰り返し楽しんでいきます。自然と触れ合いながら色々と考え、感性も育っていく経験を大切にしていきたいです。

